

大崎上島町における公共交通の現状及び課題について

R5. 8. 10 企画課

1 趣旨

公共交通は離島地域の住民にとって、通学・通勤・通院などの交通手段として欠くことのできないものである。

一方で、人口減少や燃料油価格高騰に伴う行政の赤字補填補助が続けば、財政は年々ひっ迫を続け赤字航路や赤字路線の事業費補助の維持は困難になる。

将来に渡って持続可能な地域公共交通を維持していくために、利便性向上を含めた最適化を検討する必要があることから、大崎上島町における公共交通の現状及び課題を整理する。

2 現状・課題

(1) 海上交通

ア フェリー（明石～小長）【運航：しまなみ海運(株)】

通勤・通学等にも利用される重要な生活航路である。また、大崎上島町で収穫した柑橘類を大崎下島の選果場に運ぶ農家や、呉市豊地区から大崎上島町への出作農家（約 50 戸と推計）は、収穫物を積載した車両を豊地区までフェリーで輸送している。

呉市はしまなみ海運（株）との協定により運航に係る赤字額等を負担しているが、利用者減に伴う収入減と船舶の老朽化に伴う修繕費の支出増等により負担金額は増加傾向にある。

(ア) 利用実績

区分	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度
利用者数（一般）	69,018	64,654	58,390	57,584	57,315	54,766	48,913	48,302	40,374	37,456	36,899
利用者数（定期券）					4,320	3,800	3,240	480	0	0	0
合計					61,635	58,566	52,153	48,782	40,374	37,456	36,899

※定期券は、1か月定期を1人購入した場合、40人と換算している。

自動車航送台数	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度
	28,546	26,733	24,242	24,165	23,536	23,211	21,838	19,865	17,618	16,966	15,769

(イ) 行政負担額

区分	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度
呉市負担金額	19,254	22,636	23,278	14,489	16,921	28,000	33,355	35,000	33,832	39,000	
県補助金（※）	3,702	5,244	5,662	3,176	1,808	5,038	7,190	8,084	8,452	9,113	
呉市実質負担額	15,552	17,392	17,616	11,313	15,113	22,962	26,165	26,916	25,380	29,887	

※ 呉市の負担に対しては、広島県生活航路維持確保対策事業補助金交付要綱の規定に基づき、広島県から毎年度補助金が交付されている。

(ウ) 便数（1日12便）

■明石発（小長行き）

便	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
明石	6:35	7:15	7:55	9:18	9:58	11:52	13:10	15:22	16:32	17:55	18:29	19:55
小長	6:50	7:30	8:10	9:33	10:13	12:04	13:25	15:34	16:44	18:07	18:41	20:07

■小長発（明石行き）

便	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
小長	6:15	6:55	7:35	8:58	9:38	11:35	12:50	15:05	16:15	17:35	18:12	19:40
明石	6:30	7:10	7:50	9:13	9:53	11:47	13:05	15:17	16:27	17:50	18:24	19:52

イ 高速船（竹原～めばる～一貫目～天満～沖浦～明石～御手洗～大長）【運航：しまなみ海運株】

利用者数は減少傾向にあり運賃収入も減少している。

運航経費から営業収益を差し引いた欠損額を町が補助しているが、運航収支は赤字が続いており、令和4年度の欠損額は約5,300万円で、直近5年間を見ても平均4,500万円/年もの多額の費用を町が負担しており、今後さらなる増加が見込まれる。

なお、コロナ禍の影響が大きい令和元年度とコロナ影響下の令和3年度及び令和4年度において、利用者数の利用区間の構成をみると、いずれも①竹原～めばる、②明石～大長の割合が高く、③竹原～天満を含めた3区間で70%以上を占めている。

(ア) 利用実績

区分	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度
総利用者数	41,527	42,770	38,702	38,195	36,111	34,727	28,664	28,835	21,039	19,537	20,523

(イ) 運航収支

区分	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度
営業収益	28,518,170	27,378,140	25,847,510	25,930,660	26,758,330	23,476,200	21,333,461	23,910,100	15,913,410	14,072,911	15,120,982
運航経費	64,424,671	63,320,746	62,814,686	62,850,401	63,720,356	60,415,995	58,333,461	63,910,100	60,162,242	67,978,392	68,716,105
差引欠損額 (町負担額)	35,906,501	35,942,606	36,967,176	36,919,741	36,962,026	36,939,795	37,000,000	40,000,000	44,248,832	53,905,481	53,595,123

(ウ) 利用者数の利用区間の構成（上位3区間）

利用区間	令和元年度	令和3年度	令和4年度
①竹原～めばる	32.4% (9,341人/28,835人)	33.3% (6,508人/19,537人)	34.1% (6,990人/20,523人)
②明石～大長	29.1% (8,397人/28,835人)	31.5% (6,145人/19,537人)	28.8% (5,921人/20,523人)
③竹原～天満	14.4% (4,161人/28,835人)	13.3% (2,608人/19,537人)	10.1% (2,069人/20,523人)
合計	75.9% (21,899人/28,835人)	78.1% (15,261人/19,537人)	73.0% (14,980人/20,523人)

(エ) 便数（1日7便）

■竹原発（大長行き）

便	1	2	3	4	5	6	7
竹原	7:23	9:03	11:33	13:05	15:40	18:10	19:47
めばる	7:34	9:14	11:44	13:16	15:51	18:21	19:58
一貫目	7:44	9:24	-	13:26	16:01	18:31	20:08
天満	7:46	9:26	-	13:28	16:03	18:33	20:10
沖浦	7:55	9:35	-	13:37	16:12	18:42	20:19
明石	8:00	9:40	-	13:42	16:17	18:47	20:24
御手洗	8:07	-	-	-	-	18:54	-
大長	8:12	9:46	-	13:48	16:23	18:59	20:30

■大長発（竹原行き）

便	1	2	3	4	5	6	7
大長	6:35	8:15	9:50	-	14:02	17:20	19:01
御手洗	-	-	9:55	-	-	-	-
明石	6:41	8:21	10:02	-	14:08	17:26	19:07
沖浦	6:46	8:26	10:07	-	14:13	17:31	19:12
天満	6:55	8:35	10:16	-	14:22	17:40	19:21
一貫目	6:57	8:37	10:18	-	14:24	17:42	19:23
めばる	7:07	8:47	10:28	11:45	14:34	17:52	19:33
竹原	7:19	8:59	10:40	11:57	14:46	18:04	19:45

(2) 陸上交通

ア おと姫バス【運行：さんようバス(株) (指定管理者)】

利用者数は長期的な減少傾向にある。また、町民からダイヤやコースが複雑で分かりづらいとの声があり、利用が伸びない一因と考えられる。

平成 29 年 4 月 1 日から運賃を値下げ (200 円⇒100 円) したものの、その効果は値下げ直後の 3 年間をみても 1 割未満 (H28 年度比 H29 年度 9%増、H30 年度 5%増、R元年度 6%増) と利用者数増には繋がっておらず、平成 29 年度以降の運賃収入の減収が顕著である。

さらには運賃値下げにより県費補助の対象外となり、平成 30 年度以降の町負担が増加している。

(ア) 利用実績

区分	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R01 年度	R02 年度	R03 年度	R04 年度
乗車人数	23,926	22,250	19,368	19,999	19,530	21,332	20,518	20,841	16,984	16,119	16,492
乗車人数/日	65.6	61.0	53.1	54.6	53.5	58.4	56.2	56.9	46.5	44.2	45.2

(イ) 運行収支

区分	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R01 年度	R02 年度	R03 年度	R04 年度
運賃収入	4,064,180	3,859,830	3,370,200	3,420,060	33,340,600	1,791,320	1,754,720	1,775,260	1,455,160	1,412,540	1,428,000
町委託料	24,717,000	25,284,000	26,492,400	26,654,400	26,136,000	26,244,000	29,000,000	29,265,153	29,537,037	29,537,037	29,537,037
県補助金 (※)	-	2,661,000	2,402,000	2,411,000	2,411,000	1,283,000	-	-	-	-	-
町負担額	24,717,000	22,623,000	24,090,400	24,243,400	23,725,000	24,961,000	29,000,000	29,265,153	29,537,037	29,537,037	29,537,037

※ 平成 29 年 4 月に運賃を一律 100 円に引き下げたことにより、各系統で収支率が下がり、平成 30 年度 (H29.10~H30.9) 補助対象が 0 路線になり、広島県市町等運行路線再編促進費補助金の対象外となった。

イ 路線バス【運行：さんようバス(株)】

平成 25 年度までは利用者数は減少傾向にあったが、平成 26 年度以降は概ね横這いである。

路線バスの運賃を一律 100 円としたことに対する欠損額について、平成 29 年 10 月から町が補助金を支出している (平成 30 年度以降 約 1,500 万円/年)。

また、国の補助金申請において、補助対象経常費用のうち、補助対象必要収益は 20 分の 11 が必要であり、経常収益を差し引いた上で更に不足する部分について町が補助金を支出しており、町負担が大きい (平成 30 年度以降 約 400 万円/年)。

(ア) 利用実績

区分	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R01 年度	R02 年度	R03 年度	R04 年度
乗車人数			97,784	93,576	93,648	96,908	91,090	92,975	94,189	101,780	84,999

(イ) 町負担額

区分	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R01 年度	R02 年度	R03 年度	R04 年度
運賃補填補助金 (※1)	-	-	-	-	-	7,981,095 <small>※10月からのみ</small>	15,840,431	15,488,129	15,018,091	14,653,701	15,455,320
生活交道路線 維持費補助金 (※2)	4,113,613	4,461,118	2,583,221	2,662,495	4,363,043	5,425,804	5,718,185	3,948,781	6,075,681	416,519	3,384,713
町負担額	4,113,613	4,461,118	2,583,221	2,662,495	4,363,043	13,406,899	21,558,616	19,436,910	21,083,772	15,070,220	18,840,033

※1 路線バスの運賃を一律 100 円とすることに対する欠損額について、町が補助金を支出 (平成 29 年度 10 月から実施)

※2 国の補助金申請において、補助対象経常費用のうち、補助対象必要収益は 20 分の 11 が必要であり、経常収益を差し引いた上で更に不足する部分について町が補助金を支出